Japan Water Forum
日本水フォーラム

日本では当然のように手に入る水。

で	も	世	界	で	は	？

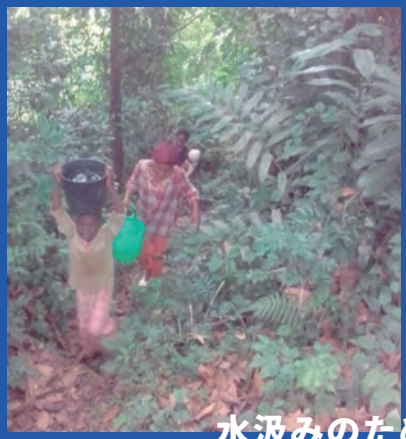
日本では「水を手に入れる」ということを意識することは滅多にありません。
それは日本ではすでにインフラが整っているから。
蛇口をひねれば当たり前のように水が出てくる恵まれた環境です。
では世界の水事情はどうでしょうか。

牛とも共有されていた
飲料水を汲むため池

ウガンダ

壊れていた
給水設備

ハイチ



水汲みのために
険しい道を行く様子

カメルーン

生徒数に対して
トイレが不足している

ケニア

アジアやアフリカ等の多くの地域では、インフラが未だ整っていません。
人々は、不衛生な水を飲んだり、水を手に入れるために危険な目に遭い、
普通に生きること、学ぶこと、暮らすことさえ叶わない。
こんな事例が世界には溢れているのです。

数字で見る水と環境

新型コロナウイルス 感染症対策に欠かせない 手洗い・うがい。

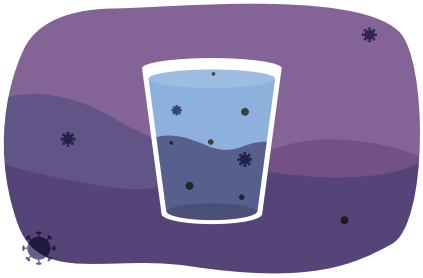
で	も	世	界	で	は	？

47%の学校で、40%の人々が家庭で、水と石けんを使うことができない

これで、
どうやってコロナを防ぐ？

蛇口をひねれば いつでも 安心・安全な水道水。

で	も	世	界	で	は	？



南アジア・中央アジア諸国では、40%の人々が、サブサハラ・アフリカ諸国※では、73%の人々が、安全に管理された飲み水にアクセスできない

※サブサハラ・アフリカ諸国：サハラ砂漠以南の国々

そんな国はごくわずか。
日々の生活は水汲みに費やされ
汲んできた水も決して安全ではありません。

家にトイレがあるのは 当たり前。トイレは プライベート空間。

で	も	世	界	で	は	？

55%の人々が安全に管理された衛生施設（トイレ）を利用できない

排泄中に襲われることを恐れながら
屋外でする人たちも。

データ出典：WHO/UNICEF JMP

世界の水問題解決に向けた活動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐにはー

世界中で感染が広がっている新型コロナウイルス感染症から、自分と周りの人たちを守るために、石けんを用いた手洗いが呼びかけられています。ですが、世界には水も石けんも手に入らない人々もいるのです。

SDGs※の達成に向けてー

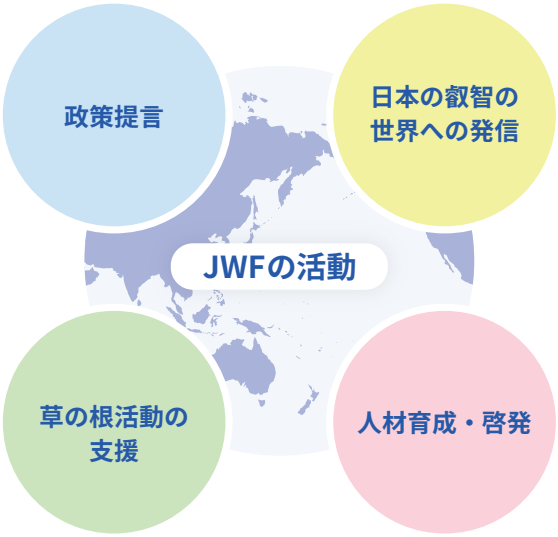
SDG6 安全な水とトイレを世界中に

世界中で取り組まれているSDGs※その中でも、SDG6では水と衛生に関する目標が定められています。水は人が生きていくうえで必要不可欠なものですが、地球上では、十分な水が得られず、苦しんでいる人、気候変動などにより深刻な水不足の影響を受けている人も少なくありません。

※ SDGsとはー2015年に国連サミットで採択された、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載される、概ね2030年までに実現を目指す世界共通の国際目標

Japan Water Forum
日本水フォーラム

すべての人が水に起因する苦しみから解放され、水の恩恵と価値を最大限に享受できる世界の実現へ



日本水フォーラム（JWF）とは

2004年の創設以来、あらゆる人々が清浄な水と衛生を継続的に手に入れられるよう、政策、技術、資金等、様々な側面からの働きかけ、情報発信・支援を展開しています。

草の根レベルでは、公的支援が届かない状況でも現地の資材と人材で、自ら問題解決に取り組む人々の努力に対し、積極的な支援を行っています。

水と衛生の改善がもたらすもの

JWFの支援の事例から

カメルーン

これまで、汚れた水の利用が腸チフスや赤痢といった病気の原因でした。幸いなことに、このような病気は減っています。

地域のリーダー・38歳女性

井戸の建設を行った地域

シエラレオネ

衛生設備が改善されたことで、教師も生徒たちも健康になりました。トイレがあるので、女子生徒の出席率は良くなっています。教師たちは、野外排泄する生徒を林まで追いかける必要がなくなり、授業時間を確保できるようになりました。

学校長・45歳男性

トイレの後には必ず石鹸を使って手洗いをするようになりました。当番制でトイレの清掃をしていますが、清掃は進んで行います。トイレは私たちのもので、大事にする必要があるからです。

井戸の利用者・23歳女性

学校のトイレの建設と衛生教育を行った地域

南スーダン

これでもう遠くの水汲み場で、女性や少女たちが悪い人間に襲われることはありません。本当にうれしく思っています。　井戸の利用者・33歳女性

トレーニングでは、正しく手洗いをすることや井戸の管理方法などを教えてもらい、とても興味深かったです。　井戸の利用者・20歳女性

壊れた井戸の修繕を行った地域

シエラレオネ

これまでは、子どもたちは汚れた水のせいで病気になり、学校を休みがちでした。子どもたちのことを思いやってくれて、本当にありがとうございます。

湧水の利用者・43歳女性

湧水の水源の保護設備の建設を行った地域

マラウイ

水汲みで帰りが遅くなることが原因だった夫婦喧嘩はなくなりました。また、時間に余裕ができたことで、新たな仕事を始めた家庭もあります。本当にうれしく思っています。

村長・42歳男性

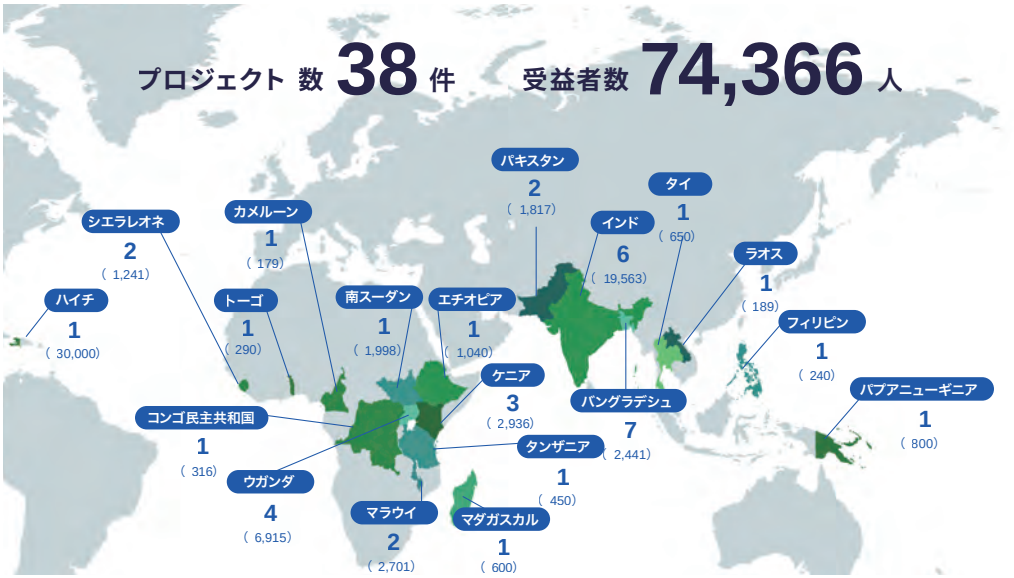
妻が水汲みに時間を取られなくなったので、2人で畑に行き作業をすることができるようになりました。

井戸の利用者・23歳女性

壊れた井戸の修繕を行った地域

JWFが草の根活動を通じて

「支援を行ってきた国々」



数字は支援件数、カッコ内は受益者数
（SDGsが設定された後、2016年以降抜粋）

皆様からのご支援をお待ちしております

ご支援者様
税制上の優遇措置対象※

寄付

Japan Water Forum 日本水フォーラム
日本水フォーラム（JWF）

水問題解決に向けた活動

※日本水フォーラム（JWF）は、認定NPO法人です。ご寄付いただいた場合には、税制上の優遇措置が適用されます。

個人の方の場合	確定申告を行うことにより、寄付したお金の最大約50%が戻ってきます。
相続人の方の場合	「寄付した相続財産」が非課税に。
法人の場合	法人税の軽減につながる、損金（法人税法上認められている費用、損失など）として扱える限度額（損金算入限度額）の枠が拡大。

ご興味がある方は
日本水フォーラム（JWF）にお問い合わせください

ご寄付・遺贈のご案内へ →

Japan Water Forum 日本水フォーラム

特定非営利活動法人 日本水フォーラム（認定NPO法人）

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-4 アライズ第2ビル6階 ／ TEL 03-5645-8040 ／ FAX 03-5645-8041

Copyright JAPAN WATER FORUM, All Rights Reserved.